

# 健康福祉委員会資料

## (病院局関係)

### 2 請願の審査

(1) 請願第4号 井田病院への送迎バスの運行を求める請願

資料 請願第4号「井田病院への送迎バスの運行を求める請願」について

病院局

令和5年11月21日

# 請願第4号「井田病院への送迎バスの運行を求める請願」について

## 1 市立井田病院について



### 市立井田病院

中原区井田2-27-1

- ・病床数：383床
- ・1日平均外来延患者数：589人（R4年度）
- ・1日平均入院延患者数：235人（R4年度）
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・紹介受診重点医療機関 ・災害拠点病院
- ・最寄り駅：東急東横線日吉駅徒歩15分

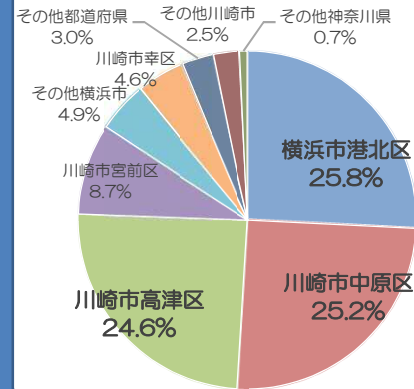


### 井田病院への主な公共交通機関

起点	種類	所用時間	平日運行本数
東急東横線日吉駅	東急バス	約5分	161本/日
東急東横線元住吉駅	市バス	約11分	65本/日
JR武蔵新城駅	市バス	約17分	15本/日
JR武蔵小杉駅	市バス	約17分	18本/日
東急田園都市線宮前平駅	市バス	約25分	11本/日
JR川崎駅	市バス	約43分	35本/日
市バス井田営業所前	市バス	約4分	53本/日

## 2 外来患者の状況について

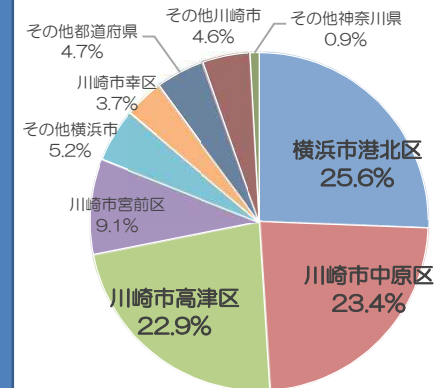
### 井田病院外来患者の住所地[令和4年度]



・井田病院は横浜市港北区をはじめ、多くの患者は近隣から来院されます。また、久末・蟹ヶ谷地域からの患者の割合は比較的多い状況です。

順位	住所	割合
1	横浜市港北区下田町	7.8%
2	高津区久末	7.3%
3	中原区井田	6.4%
4	高津区蟹ヶ谷	5.4%
5	横浜市港北区日吉本町	5.2%
6	横浜市港北区日吉	4.8%
7	中原区木月	2.9%
8	高津区子母口	2.5%
9	高津区千年	2.4%
10	中原区下小田中	2.3%

### 井田病院への紹介状持参患者の住所地[令和4年度]



井田病院は、地域の中核病院として、地域の医療機関から紹介状により紹介いただいた患者への外来を基本としています。

紹介状持参患者の分布は、上の外来患者同様、**久末(5.4%)・蟹ヶ谷(4.0%)**からも多くいらっしゃる状況です。

### 3 久末団地・蟹ヶ谷から井田病院への公共交通機関について



#### ■久末団地→井田病院へのルート

##### ルート①: 千年を経由するルート

	平日運行本数	所要時間
久末団地→千年	30本/日	約15分
千年→井田営業所前 (うち15本は井田病院行き)	64本/日	約8分
井田営業所前→井田病院※ (うち15本は千年から直通)	53本/日	約4分

※井田営業所前での乗継は1乗車とみなされる。

##### ルート②: 千年を経由せず井田営業所前へ向かうルート

	平日運行本数	所要時間
久末団地→井田営業所前	4本/日	約12分
井田営業所前→井田病院※	53本/日	約4分

※井田営業所前での乗継は1乗車とみなされる。

##### ルート③: 日吉駅を経由するルート

	平日運行本数	所要時間
久末団地→日吉駅	44便/日	約17分
日吉駅→井田病院	161便/日	約5分

#### ■蟹ヶ谷→井田病院へのルート

	平日運行本数	所要時間
蟹ヶ谷→井田営業所前	41便/日	約11分
井田営業所前→井田病院※	53本/日	約4分

※井田営業所前での乗継は1乗車とみなされる。

#### 4 井田病院武蔵小杉駅間シャトルバスのこれまでの経緯



##### <患者送迎用シャトルバス 運行ルート>



#### ■ 試行運行の開始【平成18年12月11日】

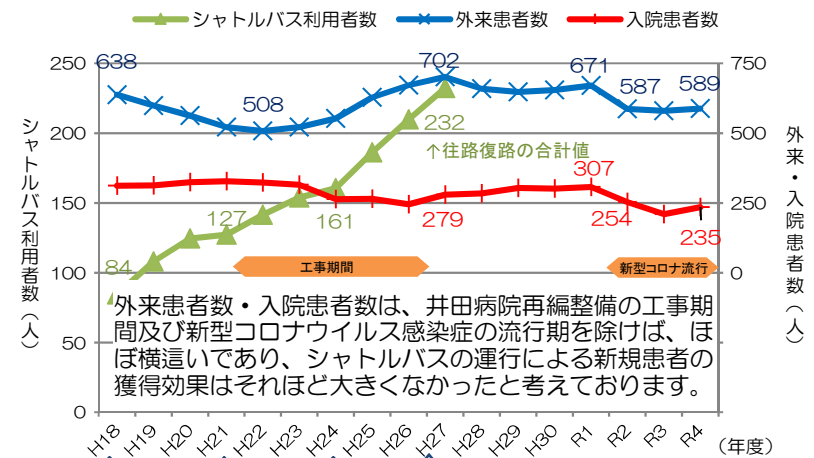
- 運行目的**
- ①再開発が進み人口増加が予想された武蔵小杉駅から試験的に無料シャトルバスを運行することによる患者の利便性の向上と患者エリアの拡大
  - ②井田病院再編整備に伴う工事期間中の井田病院における駐車場減少への対策

#### ■ 試行運行の終了【平成28年3月31日】

- 終了理由** 平成28年4月から、武蔵小杉駅井田病院間を含め、井田病院への市バスが増便されたことにより、当初目的であった武蔵小杉駅から井田病院への患者の利便性の向上と患者エリアの拡大が図られたこと、シャトルバスの継続は市バスの利用の妨げになることから、試行運転を終了いたしました。

#### 5 シャトルバスの利用者・患者数の状況・課題

##### シャトルバス利用者数と患者数の推移〔1日平均〕



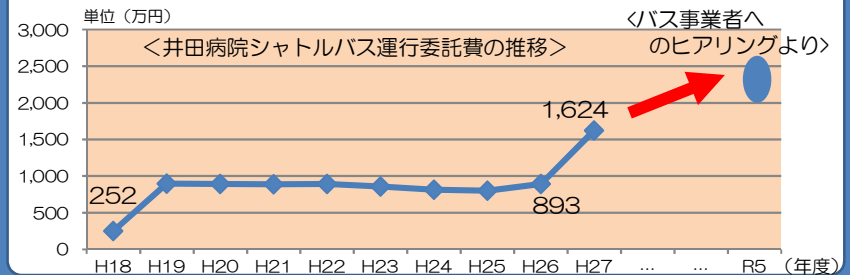
外来患者数・入院患者数は、井田病院再編整備の工事期間及び新型コロナウイルス感染症の流行期を除けば、ほぼ横這いであり、シャトルバスの運行による新規患者の獲得効果はそれほど大きくなかったと考えております。

・利用者の6割程度が患者であり、当時のシャトルバスによる新規患者の獲得効果はそのうちの1割程度と思われる。(H27で約7人/日) (利用者アンケート調査より)

#### 【シャトルバスの課題】 運行委託経費の増大

一般貸切旅客自動車運送事業に係る「新たな運賃・料金制度(時間・キロ併用制)」導入の影響により、平成27年度からシャトルバス運行委託費が大幅に増大(従来の約1.8倍)しました。

〔運行委託費 平成26年度 約893万円 → 平成27年度 約1624万円(税込)〕 また、昨今のドライバー不足と物価高の影響により、シャトルバス運行委託費は、更に高額になることが見込まれます。



**【請願要旨】**

井田病院と久末地域を結ぶ送迎バスを運行してほしい。

**【本市病院局の考え方】**

市立病院は、公立病院として不採算医療・政策的医療を提供する役割を担いつつも、公営企業として、経営に要する経費は診療報酬による収入をもって充てる、独立採算を原則とした経営が求められており、常に効率的かつ効果的な事業執行が求められております。

井田病院・久末地域間のシャトルバスの運行は、井田病院・武蔵小杉駅間における試行運転当時と比較し大幅に運行費用が上昇する見込みであり、それに見合うだけの新規患者の獲得は期待できないと見込んでいるため、病院局独自の運行は難しいものと考えております。

そのような状況の中で、今後につきましても、患者へのアンケート調査等を通じて患者の動向・要望を分析し、必要に応じて関係局とも連携しながら、地域住民の医療サービスの向上に向けた研究を続けてまいります。